



平成 31 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 C & F ロジホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 林 原 国 雄
(コード : 9099 東証第一部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 武 藤 彰 宏
(TEL 03-5291-8100)

子会社における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）におきまして、当社の連結子会社である名糖運輸株式会社にて、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容について

平成 27 年 5 月 5 日に山陽自動車道下り線欽明路トンネル内において、名糖運輸株式会社の大型トラックとトンネル内で故障し停車していた熊本ロジネット有限会社の大型トラックが接触し、双方の車両が全焼した交通事故に対し、双方より車両の損害賠償等に係る訴訟を提起しております。

また、この交通事故の影響により、西日本高速道路株式会社中国支社が、平成 28 年 12 月 5 日から 9 日までの計 4 夜間通行止めを実施し、当該車両火災により損傷した箇所の本復旧作業を行い、西日本高速道路株式会社中国支社より名糖運輸株式会社に対する平成 30 年 12 月 20 日付の原因者負担金請求書において修復費用総額が 99,681 千円であることが示されております。

このたび、平成 31 年 1 月 23 日付で福岡地方裁判所より和解案の提示がなされたことに伴い、当該車両火災に起因したトンネル修復費用について、和解案の過失割合に準じて負担が見込まれる金額を事故関連損失引当金繰入額として特別損失に計上することといたしました。なお、車両の損害賠償等に係る費用負担額につきましては、過年度および当第 3 四半期連結累計期間において事故費として費用計上を済ませております。

まだ和解案が提示されたところであり、現時点で熊本ロジネット有限会社との和解は成立しておりませんが、今後進展があり次第、速やかにお知らせいたします。

2. 業績への影響

上記のとおり、平成 31 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間において、当該車両火災に起因したトンネル修復費用として 69,777 千円を特別損失に、車両の損害賠償等に係る費用負担額として 1,107 千円を営業原価（事故費）にそれぞれ計上いたしました。

なお、平成 31 年 3 月期業績への影響につきましては、本件に関する他の項目も含めて精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上